

## 地 域 再 生 計 画

### 1 地域再生計画の名称

「生活グッズ産業」と「頭脳立地」の集積を活かした地域経済活性化による雇用創出

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

海南市

### 3 地域再生計画の区域

海南市の全域

### 4 地域再生計画の目標

和歌山県の北西部に位置する海南市は、平成17年4月1日に旧海南市、旧下津町が合併して誕生した、人口5万8千人の市である。熊野古道が南北に通り、中世から交通の要衝として栄え、現在も、高速道路のインターチェンジが3つあり、JR海南駅には特急電車が全車停車するなど、京阪神方面や、関西国際空港からのアクセスが良好である。気候は、四季を通し温暖であり、みかん、びわ、桃の栽培が盛んで、特にみかんは全国的なブランドとなっている。

当地域の主要産業として、「生活グッズ」に関する地場産業である漆器、日用家庭用品、家具の製造業が古くから集積し発展してきた。盆や椀を中心とする紀州漆器は室町時代から続く伝統産業であり、会津塗、山中塗、輪島塗とともに全国四大産地のひとつで、昭和53年に国から伝統的工芸品の指定を受けている。また、紀州漆器協同組合が運営するうるわし館（紀州漆器伝統産業会館）では、紀州漆器の展示即売を実施し、周辺の町並み、漆器土産物屋と併せて観光スポットとなっている。日用家庭用品は、地域の豊富な棕櫚を使った縄やホウキ、タワシ作りに始まり、現在は、ポリプロピレンなど高分子化合物を利用したキッチン、バス、トイレなどの水廻り用品を中心に、全国シェアの80パーセントを占めている。家具は、漆器の大量生産化に伴い、仕事量が減少した木地業者がタンスや机の生産を手掛けるようになったことに端を発し、ユニット家具等を主体とした産地に発展した。しかし、これらの生活グッズ産業は、近年のライフスタイルの変化による市場ニーズの激変、デフレ現象、流通形態の変化に加え、原油価格高騰の影響で非常に苦しい状況となっている。

「旧頭脳立地法」に基づき、特定事業集積を図る産業用地である海南インテリジェントパークは、平成6年に分譲開始され、近畿大学の研究所をはじめ、13企業・団体への土地譲渡が完了している。また、パーク内に立地する中核産業高度化支援施設である和歌山リサーチラボ内のテナントオフィスでは、IT関連を中心に、約

40社のベンチャー企業、誘致企業等が事業活動を展開している。パーク立地企業の中には飛躍的に成長している企業もあるが、3社が未操業であるうえに、撤退を検討している企業もあり、和歌山リサーチラボのテナントも、少人数体制で経営基盤が不安定な企業が多く、地域に定着しにくい状況となっている。

一方、地域の雇用状況は、平成19年1月から12月の平均有効求人倍率が0.84倍と、全国平均の1.04倍を大きく下回っている。有効求職者数は、ほぼ毎月1,000人を超えていたが、平成19年4月以降、減少傾向に転じ、平成19年12月は759人となっており、求職者が市外、県外に職を求めて流出していることが窺える。国勢調査によると、当市の平成7年の10歳代の人口は7,217人であったが、10年後である平成17年の20歳代の人口は5,239人であり、この間の市内総人口の減少数4,890人の4割を占める減少数となっている。これは、就職に際して、若年者が市外に流出していることが浮き彫りとなっているもので、地域産業の発展を支える人材の確保において、危機的な状態といえる。

第1次海南市総合計画に掲載しているとおおり、地場産業は海外との価格競争が激しく、厳しい経営状況が続く中、活性化のためには魅力ある商品の開発が必要不可欠であり、海南インテリジェントパークを核とした産業の高度化、情報化をより促進し、人材育成や研究開発を支援する体制を整え、伝統技術を活かした付加価値の高い新商品、新技術の開発を図る必要がある。すなわち、ものづくりを行う「生活グッズ」地場産業の集積と、ものづくり企業等の業務サポートを行う「頭脳立地」海南インテリジェントパークの集積による新たな連携によって、新商品、新事業、新産業を創出するとともに、雇用の創出を促進していく。

新商品を開発し、新たな市場を開拓していくうえで、マーケティングや商品企画のスキル、海外業務のノウハウをもって市場開拓できる人材、インターネット業務と併せ、コールセンター業務に長じた人材の育成が必要であり、また、各産業間の連携におけるコーディネーター機能を担う地域コーディネーターを育成し、連携による地域力の向上を図る。また、地域からの若年者流出に歯止めをかけるためにも、各産業の活性化による雇用拡大が必要であり、同時に、優秀な人材の育成が各産業の活性化に結実すると考える。

地域雇用創造推進事業を活用し、地域産業の活性化と継続的な発展を担う人材を育成し、雇用を創出することが当事業の目的である。

#### －目標における指標－

本計画による、新規就業者数の合計（計画期間終了時） 248人

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5-1 全体の概要

当地域の地場産業の活力が落ち込んでいるが、地域の歴史に根差し、地域経済の発展を支え続けた代表的な産業であり、地場産業の再活性化なくして地域経済

の活性化はない。これまでも市の施策や各産業組合において、地場産業の振興事業を実施してきているが、近年の経済を取り巻く環境の変化等によって各産業とも新しい局面を迎えており、それぞれの方向性に合致し、課題等に対応できる抜本的な対策を実施していきたいと考えている。

伝統産業である当地域の漆器は、高度経済成長期に、需要の増加に対応するためプラスチック素材にスプレーを吹き付ける大量生産型の工程が主流となった。漆器の需要が落ち込んだ現在では、その商品的価値の低さがクローズアップされ、再び伝統工芸の価値を見直し、その技術の継承と後継者の育成を試みている。同時に、商品媒体として携帯電話のカスタムジャケットをはじめ、様々な用途への応用を模索している。そこで、当地域の漆器業界が弱点としているマーケティングの体制を構築し、安定した販路を開拓することにより、伝統技術を活かした新たな商品開発を推進する。

日用家庭用品は、都市圏で開催される見本市出展等により、業界として安定した市場を確保したが、産地内に集積する複数の同業社が、限られた国内市場をめぐって競争している状態であるため、他社との差別化を図るための商品企画力と、海外を含めさらなる市場の拡大を推進する。また、単価が低くリピートのサイクルが早い消耗品が中心であり、大量生産の体制とコスト削減が重要課題であるため、近年、ほとんどの企業は中国等の海外を生産拠点としていることから、海外の政治動向や法規制の改変等について、正確な情報収集と対処できる体制を整備していく。

家具業界では、近年、他産地との過当競争により地域内の製造業が相次いで倒産している。現在は、主に海外から家具製品等を仕入れ、国内市場に卸す業態が中心になりつつあり、今後は、直接消費者を対象とした取引への移行を望む傾向があるため、販売におけるインターネットの活用と顧客対応スキルの向上を図る。

また、海南インテリジェントパークを中心とする誘致企業や、和歌山リサーチラボのテナントオフィスに集積するベンチャー企業は、地域における新産業であり、今後の発展が大いに期待されるが、地域内での知名度が低いことから、営業展開や人材の確保が困難となっているため、地域企業、産業との連携を図るとともに、地域内での効率的なPRを推進する。

## 5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当無し

## 5-3 その他の事業

### 5-3-1 地域雇用創造推進事業（B0902）

海南市、海南商工会議所、下津町商工会、紀州漆器協同組合、海南特産家庭用品協同組合、海南家具商工業協同組合、株式会社和歌山リサーチラボによる海南地域雇用創造推進協議会が以下の事業を推進する。

## (1) 雇用拡大メニュー

### ①地域コーディネーター人材育成事業

地域産業の中堅社員等を対象として、産業間連携を促進し、雇用拡大を図るため、企画立案力、マネジメント、ファシリテーション、ネゴシエーション、コーチング、コーディネーター力等のスキルアップを図るセミナーを開催する。この事業で育成された人材が核となって産業間連携を促進し、地域全体の産業PRや連携によるものづくりによって地域産業を活性化し、各企業の販売増進に伴う雇用拡大につなげる。

### ②創業者向け人事・労務管理・経営研修会

創業後の起業家、創業者の雇用促進を図るため、人事、労務管理や経営面でのノウハウの研修会を開催する。

## (2) 人材育成メニュー

### ①商品企画・デザイン・マーケティングスキル研修

地場産業企業の商品開発や営業等の職種への就職を目指す求職者、また、地場産企業の商品企画、営業等の部門の社員や、商品企画に関連する創業者を対象に、デザインを含めた新商品開発に向けての商品企画やマーケティングのノウハウ、手法の習得に向けた研修を開催する。企業の参加者の場合は、企業における課題を研修の題材とするなど、実践形式で開催する。

### ②海外業務ノウハウ研修

貿易業務や海運に係る就職を希望する求職者、また、地場産業企業や誘致企業で海外からの商品仕入れに従事する従業員や、今後、海外市場開拓を含む輸出に係る業務に携わる可能性がある従業員を対象とし、海外での業務に必要な貿易、貿易に係る海運に関する知識、法制度のノウハウ、習得に向けた研修を開催する。

### ③地域マイスター育成事業

地場産業企業への就職を希望する求職者を中心に、“海南ブランド”情報発信に向け、漆器、日用家庭用品、家具などの各分野における産業の歴史的背景、製造工程、商品などのあらゆる知識に精通した人材を育成する。

### ④IT人材育成

日用家庭用品業界等の商品企画開発、デザインに関する職種の就職を目指す求職者、また、デザインを含む商品企画による創業を目指す起業家を対象としたCAD・デザインソフトの操作や、家具業界等のインターネットを活用した販売促進に関する就職を目指す求職者を対象に、ホームページ作成やネットショップサイト運営、顧客対応スキルの研修、IT系企業への就職を目指す求職者を対象とした、システムアドミニストレーター等の研修、営業職に必須となるOA活用スキルの研修を開催する。

⑤営業・販売職育成研修

地域産業の営業、販売職を希望する求職者を対象に専門知識の研修を実施するとともに、産業全体を通じて要望の強いビジネスコミュニケーションスキルの研修を開催する。

(3) 就職促進メニュー

①広報事業

求職者、U・Iターン者、地域企業に向けて、協議会ホームページの開設や広告等で地域内外に幅広く情報発信を行う。また、U・Iターンの誘致を実施する。

②求職者・企業との交流事業

地域企業と求職者の交流を促進し、雇用につなげるための企業合同説明会、及び、若年者の地域内就業を促進するために地元企業を紹介するとともに、就業の心構えを紹介する交流会を開催する。また、就業の見込みが高い求職者は、企業においてOJT体験を行う。

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 地場産業振興に関する取組

①ものづくり創造支援事業

地場産業等の高付加価値商品化を目的に実施してきたデザイン振興事業において培った人的ネットワーク等の事業資産を活用し、新事業創出のために行う新商品開発やデザイン開発、高付加価値化や需要開拓のための調査分析、PRに係る経費や、新商品等の知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権）を取得するための出願や審査請求に係る経費に対する助成を行い、必要な場合はアドバイザーを派遣しており、今後も実施していく。

②地場産業まつり開催事業

毎年11月の第二土・日曜日に、「紀州漆器まつり」、「海南家庭用品まつり」、「海南家具まつり」をそれぞれ開催して、地場製品の展示即売や各種イベントを行い、海南市の地場産業のPRを図っており、今後も実施していく。

③伝統工芸事業

漆器の伝統工芸の技術を継承し後継者を育成するために、伝統工芸士による研修や、紀州漆器協同組合青年部による意見交換会、地域内外の関係者による講習会等を実施しており、今後も継続していく。

④特産見本市出展事業

地域地場製品の販路開拓や地場産業の活性化を目的に見本市に出展した各企業の小間料について、市が各地場産業組合を通じて3分の1以内の額を補助することにより、見本市への出展を促進しており、今後も実施していく。

(2) 新産業の地域定着

### ①新事業創出に向けた地域連携の構築

独立行政法人中小企業基盤整備機構、和歌山県、海南市、和歌山リサーチラボ、海南インテリジェントパーク立地企業等による「海南インテリジェントパーク立地企業協議会」の活動において、新事業の創出を念頭に置いた立地企業と地場産業等の連携を図っていくとともに、和歌山リサーチラボのテナントオフィスの空室等への誘致活動を推進していく。

### ②交通機関確保対策事業

海南インテリジェントパーク立地企業等の交通の利便性を図るため、海南インテリジェントパークとJR海南駅を結ぶバスの運行について、バス事業者に補助金を交付しており、今後も、立地企業の雇用促進に資するものとして、市が立地企業の従業員の要望を独自調査しながら継続していく。

### ③起業家支援事業

新たに起業化を図り、将来の発展が見込めるスタートアップ段階の起業家、または、新分野への進出や研究開発に取り組む企業、個人事業主に対し、審査のうえ、3年間の期限で、和歌山リサーチラボのテナントオフィスの賃料助成と、インキュベーションマネージャーの配置による創業支援を実施しており、今後も入居企業の事業を成功に結びつけられるよう支援を実施していく。

### ④インフォ・フェアinわかやま事業

将来のユビキタス社会における生活、教育、医療、産業関係等への取り組みに対しIT技術で貢献できる最新ソフト及びハード製品等の展示、説明会等を開催している。この事業を通して、ITをベースとした産学官のネットワークと、ITを道具とした社会生活全般の変革に対する理解を深め、ITが地域に根付くことを目指しており、今後も実施していく。

## (3) 地域産業と連携する産業（観光産業・海運業）の振興

### ① 観光ネットワーク事業

春と秋の観光シーズンに、「文化財めぐり」「食めぐり」「町並みめぐり」等のコースを設定し、漆器の蒔絵やみかん狩り等の体験や地域特産の弁当など地域の特色を活かしたバスツアーを実施している。このバスツアーにおいて、工場等の見学を含めた産業施設のコースも設定しており、地域産業と観光を連携してPRを図りながら、今後も実施していく。

### ② 漆器蒔絵体験ハウス

紀州漆器伝統産業会館（うるわし館）で実施している漆器の体験観光で、観光客等が漆器の盆や弁当箱の素地を購入し、講師の指導のもと、塗料を塗ってカラフルな色粉を蒔き、自身のサインを入れて土産物として持ち帰る企画である。また、伝統工芸士による絵付け等の実演も併せて開催している。消費者に伝統工芸の理解を深めるため、今後も実施していく。

③ かいぶつくん（海南省物産観光センター）

J R海南駅構内に設置している市の施設で、漆器、日用家庭用品、家具、酒など地域の特産品の展示や販売、観光パンフレットなどの資料配布を行っている。また、レンタル商品棚を設置し、手作り工芸品などの販売を行う「たまたばこ海南」事業を実施している。商店街活性化など地域のまちづくり推進を行う第三セクターのまちづくり会社が指定管理者として、これらの事業を推進しており、今後も実施していく。

④ 親子ヨットスクール

海運業の後継者不足対策として、ヨットの操縦や海上での安全に関する指導を実施し、船離れしている地元住民に対して親子での参加を促進することにより、海運業に関する意識啓蒙を図っており、今後も実施していく。

6 計画期間

認定を受けた日から平成23年3月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

海南地域雇用創造推進協議会において、各メニューに参加した求職者に対するアンケート調査等により雇用状況についての検証を行い、取組みに対する評価を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し